

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)						KPI (成果指標②)						予算額(千円)	決算額(千円)	評価	主な取組と成果に対する評価	今後の方向性			
					事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値	実績値	達成率	事業目標	目標年度	基準値	基準年度	目標値						実績値	達成率	
I 「稼げるまち」の実現																								
産業用地の創出・確保	1	響灘地区等の需要増に伴う工業用水道施設整備	響灘地区における工業用水の需要が増加するため、浄水場内施設及び配水管の整備に取り組む。	浄水課計画課	響灘地区への供給量確保	R6	R4年度末供給量(50,700 m ³ /日)	R4	R4年度末比+18,000 m ³ /日	+0 m ³ /日	0.0%								1,038,400	458,194	概ね順調	他工事の影響により、工事の一部が令和6年度中に完了しなかったが、令和7年中には施設整備が完了し、令和8年1月からの受水開始を予定している企業への供給に対応できる見込みである。	継続	
インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開(上下水道分野)	2	インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開(上下水道分野)	国際技術協力で培われた相手国との信頼関係を活用し、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が実施する海外水ビジネスを支援する。	海外事業課	海外技術者育成に係る研修員受入れ700人(R6～R12年度累計)	R12	100人	R5	100人(R6～R12年度累計100人)	201人(R6～R12年度累計201人)	201.0%(R6～R12年度累計201.0%)	国際技術協力や海外水ビジネス支援42件(R6～R12年度累計)	R12	6件	R5	6件(R6～R12年度累計6件)	8件(R6～R12年度累計8件)	133.3%(R6～R12年度累計133.3%)	172,771	78,706	順調	アジアを中心とする国を対象とした職員派遣や研修員受入れを通じて培われた相手国との信頼関係を活用し、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が、当該国に対して実施する海外水ビジネスを支援することができた。	継続	
III 「安らくまち」の実現																								
上下水道施設の自然災害対策の推進	3	浸水対策事業	大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管等の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。 「北九州市上下水道局雨水対策基本方針」で設定した重点整備地区16地区の整備完了地区の増加(～R12年度)	下水道計画課	「北九州市上下水道局雨水対策基本方針」で設定した重点整備地区16地区の整備完了地区の増加(～R12年度)	R12	0地区	R元	1地区(累計6地区の整備完了)	1地区(累計6地区)	100.0%(累計100.0%)								2,810,000	1,903,761	順調	重点整備地区の雨水整備について、令和6年度予定どおり1地区(木町二丁目地区)の整備が完了し、16地区中6地区の整備が完了したため、計画どおり進んでいる。	継続	
	4	地震対策事業(下水道施設)	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化に取り組む。 浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などから排水を受ける重要なポンプ場の耐震化に取り組む。	施設課	重要な15ポンプ場の耐震化率の増加(R7年度末73.3%)	R7	0.00%	R元	13.3%(累計66.7%)	6.7%(累計53.3%)	50.4%(累計80.0%)									120,000	163,600	概ね順調	令和6年度に予定していた城野ポンプ場、弘川ポンプ場の耐震化工事について、日本下水道事業団との工事委託に関する協定は締結した。工事にやや遅れが生じているが、概ね目標の耐震化率を達成している。	継続
	5	地震対策事業(水道施設)	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化に取り組む。	浄水課計画課	浄水施設の耐震化率の増加(R10年度末77.5%)	R10	33.60%	R元	—(累計59.2%)	—(累計59.2%)	—	—	配水池の耐震化率の増加(R7年度末60.1%)	R7	54.1%	R元	5.6%(累計59.7%)	5.6%(累計59.7%)	100.0%(累計100.0%)	272,004	339,694	順調	浄水施設の耐震化については、本城浄水場の耐震化を計画的に実施しており、また、配水池の耐震化については小野野第一配水池の耐震化が完了し、目標の耐震化率を達成している。	継続